

機関ごとの応募者数の決定の基準について

オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会では、近年の当大会への出場希望者の増加を受けて、毎年事前に機関調査を行い、各機関のプログラム規模およびこの地区の学習者の総数に基づき、機関ごとの応募者数の上限を決定することになっております。この調査は毎年10月に行い、その結果は11月に開催要項をお送りする際に併せて各機関にお知らせいたします。

1. プログラムの規模の決定方法

プログラム規模はその年度の学習者数とします。学習者の数え方は各プログラムにおけるコースの開講期間などによって異なるので、3学期制の機関を基準に年度を次のように分けます。それぞれの期間の学習者数の総計をその機関のプログラム規模とします。

期間 A 9月～12月	期間 B 1月～4月／5月	期間 C 5月～8月
----------------	------------------	---------------

例1：3学期制のプログラムの場合

期間 A		期間 B		期間 C	
コース	学生数	コース	学生数	コース	学生数
JPN101	100	JPN102	100	JPN103	100
JPN201	50	JPN202	50	JPN203	50
JPN301	25	JPN302	25	JPN303	25
計	175		175		175
総計	175+175+175=525 (プログラム規模)				

例2：2学期制+サマーコースのプログラムの場合

期間 A		期間 B		期間 C (サマーコース)	
コース	学生数	コース	学生数	コース	学生数
JPN100 (通年)	150	JPN100 (通年)	150		
JPN200 (通年)	80	JPN200 (通年)	80		
JPN300 (通年)	50	JPN300 (通年)	50		
				JPN100 Summer	50
計	280		280		50
総計	280+280+50=610 (プログラム規模)				

※上記の例のように通年コースで2学期にまたがる場合は、延べ人数で計算します。

2. プログラムの規模と出場者数

プログラム規模	応募者数の上限
900 -	10 (9)
800 - 899	9 (8)
700 - 799	8 (7)
600 - 699	7 (6)
500 - 599	6 (5)
400 - 499	5 (4)
300 - 399	4 (3)
200 - 299	3 (2)
100 - 199	2 (1)
~99	1 (1)

プログラム規模に基づく各機関の応募者数の上限は左表のようになります。参加機関多数の場合は、()内の数が適用されます。なお、民間の日本語学校等で学期制をとっていない機関に関しては、週当たりの時間数と開講期間に基づき個別に算出します。